

■児童・生徒の学力の状況

令和8年度全国学力・学習状況調査等の結果から、以下の課題が顕著に見られた。

- 国語科「言葉の使い方」、「話すこと、聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の全ての内容において都の平均を下回った。
- 算数科「B 図形」領域は、都の平均との差が－10.9ポイントであった。
- 国語科・算数科・英語科の理解度を問われる意識調査においては、否定的な意見が都の平均を上回った。

以上の結果から、基礎基本の学力の定着を目指し、個別最適な学びをさらに推進していく必要がある。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 全教科において「板橋区授業スタンダード」の徹底を図る必要がある。特に、児童が主体的にめあてを達成するために、学習過程や課題解決の見通しを確実にもたせる。
- 児童一人ひとりに自分の考えをもたせ、それらを他者と共有させることによって、互いに高め合う指導を工夫する必要がある。
- 児童の実態に応じて、限られた授業時数の中で、基礎基本の学力を定着させるための時間が十分に確保できない。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

○「板橋区授業スタンダード」に基づいて、1単位時間の学習の流れを設定し、習得・活用・探究の各学習において、主体的・対話的で深い学びを効果的に取り入れるとともに、アウトプットまで見通しためあてを提示して、めあてに沿った振り返りを行うことにより、自己評価力を高める。

○児童が主体的に学ぶ力を高めるために、学習課題や方法等を考えたり選択したりする学習環境を設定する。（板橋区授業スタンダードSの推進）

○体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に設定し、論理的思考力・主体的な判断力・豊かな表現力を育てる。

○基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る授業の実施

- ア 本時または本単元で児童が身に付ける能力（ねらい）を授業者が明確にして授業を行う。
- イ 少人数指導、TT等において、個別の学習状況に応じて、学習内容・指導方法を工夫した個別指導を行う。
- ウ 机間指導において、授業者がポイントを絞った指導と評価を行う。
- エ すらすらドリル、東京ベーシックドリル等を活用するなど補充的学習を工夫する。

■確かな学力の育成に向けての具体的な方策

視点1 板橋区授業スタンダードの徹底、及び 板橋区授業スタンダードSの取組	視点2 ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現	視点3 総合的な学習の時間との連携
○児童が主体的にめあてを設定し、見通しをもって学習に取り組むことができるように、授業導入における発問の精選や資料提示の工夫を行う。 ○調べ方や学び方を具体的に指導し、児童の学び方の選択肢を増やす。	○各教科等でペアやトリオ、グループ学習等を行う際に、効果的にICTを活用し、学び合いを促進する。 ○個別最適な学びにおいて、学習目標の達成状況を振り返ることができるような評価の工夫をする。	○児童自身が主体的に学ぶことができるよう自己選択できる場面を設定する。 ○各教科との関連を図りながら、社会的な問題の解決や自身で問題を見出し、調査してまとめることができるような探究課題を選択・設定し、実施する。

■MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035- -アクションプラン2028-の実現に向けた具体的な取組

保幼小接続・小中一貫教育の推進	豊かな心と健やかな体の育成	多様な教育的ニーズへの対応
○保幼小の円滑な接続を図るために、スタートカリキュラムにおいて、小学校生活を「知る」→「つなげる」に重点を置いて指導し、「遊び」から「学び」へ移行させる。 ○「9年間の単元配列表（学習内容表）」を基に、学びのエリア研修を年に3回実施し、児童生徒の現状・課題を明確化し、指導に生かす。 ○小中学校の交流を意図的に計画することを通して、中学校での「具体的な姿」をイメージさせる。	○道徳や学級活動の充実を図り、自分の意見を大切にしたり、多様な意見を知ったりすることによって、コミュニケーションの素地を養う。 ○交通安全や薬物乱用防止教室、SNS等をテーマにした「セーフティ教室」を実施し、自分や他者の心身を守る意識を高める。 ○低学年における高齢者とのふれあい授業や3年生社会科の農家の方々との交流、4年生のサクラソウ栽培、5年生の茶摘み体験、6年生の郷土学習等、体験活動を重視して、豊かな心を養う。	○ふれあい月間におけるいじめアンケートやWeb Q&A等を活用し、児童の状況を把握するとともに、全教職員で情報共有を行い、安心・安全に学べる居場所の充実を図る。 ○すべての子どもの学びを保障するために、iCS、保護者、地域の力を積極的に活用し、学び続けることができる環境の整備を行う。 ○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の関係機関との連携や、「スマイルルーム」、あいキッズ「学校内居場所」の活用等を図り、児童一人ひとりを取り残さないための取組を推進する。